

ゆいのき ミニ

速報版 43

R4.2.24

室田和宏

6年生を送る会&卒業書道！

2月後半のこの時期になると、いよいよ6年生から5年生へと“460の最上級生”の引継ぎの時期です。

“6年生を送る会”への取組を通じて、6年生が1年間どんな役割を担ってきてくれたのか、5年生は実感として感じ取ります。まだまだ不慣れながらも、全校生に何とか楽しんでもらおうと、校庭を走り回る5年生の表情は、どの顔もきらきらと輝いていました。“すべったー”なんてちょっとバツが悪そうに舞台裏にさがってきた5年生の姿も見られましたが、“すべるのを恐れていたらみんなを楽しませることなんてできない！ナイスチャレンジ”こう言ってあげたいと思います。

そして、5年生の進行に耳を澄ませ、何とか意図をくみ取って動くことで会をサポートしてあげようとする6年生の姿がまた心に響きます。慣れない役割を一生懸命果たしていこうと頑張る後輩を、無言で支えようとする優しさが、会全体の雰囲気をしずつ落ち着かせます。また、こんな場面も……。感染拡大予防のため校庭で実施したため、パイプ椅子の上に置いてあったプログラムが飛ばされてしまいました。6年生の数名がそれに気付いたのですが、すでにゲームの隊形に移動していましたので「動き出して良いものか？」と辺りを見回します。しかし、間髪入れずに次の風が…。その瞬間、素早くさっと動き出し、飛ばされたプログラムを拾い集めはじめました。“5年生の進行に迷惑にならないか”と気遣いながらの行動はさすがに最上級生。感心しました。バトンを渡す側も受け取る側も、伝統の重



さをしっかりと感じ取ってくれているようです。一斉下校の際には、班長の引継ぎも行いました。地域で正式に決まるまでは仮の登校班になりますが、こちらもしっかりと引き継いでほしいと思います。

そして翌日、6年生は本校伝統の卒業書道に取り組みました。スクールサポートスタッフさんに助けをもらいながら、前日に用紙を貼り合わせ準備をしました。文字は事前に赤澤先生に送って添削していただきました。卒業式でのご披露になります。お楽しみに。

★ 体罰相談ダイヤル ★

3月3日(木)～4日(金)は電話相談日

本校では体罰の根絶に取り組んでいます。万一体罰や不適切な指導があったと認識されたときには、上記の期間に限らず、いつでも学校までご連絡ください。校長、副校長が随時ご相談にあたります。連絡先は以下の通りです。

城山中央小学校 652-0036 担当：副校長

ゆいのき ミニ

地域の方への感謝の会

速報版 44

R4.3.4

室田和宏



・・・魅力協の皆さんは、楽しいイベントをたくさん考えてくださいました。ぼくは「焼きいもやけるかな？」が一番心に残っています。寒い中、校庭で友達と焼きいもを焼いて食べたのが楽しかったです。交通指導員さんやまごころサポーターさん、110番の家の方々の協力で安全に登下校できています。グリーンサポーターさんや農業体験協力者さん、読み聞かせボランティアどんぐりの皆さんなど、学校や私たちのためにお手伝いをしてくださる方もいて、いつも城山中央小学校は楽しいなと思っています・・・児童代表の6年生 さんがこの

ようにお礼の言葉を述べました。感染の拡大を防止するために、1階のオープンスペースからのリモート中継で実施した感謝の会。魅力ある学校づくり地域協議会の渡辺会長、交通指導員の桑久保様、そしてまごころサポーターから高橋正子さん、高橋節子さん、高橋恵子さんの3名にお残りいただいて縮小しての実施でしたが、児童代表の挨拶を聞いて、あらためて多くの皆様に支えられていることを実感できたことと思います。来年こそはお世話になっている皆様をお招きしてこの会を盛大に実施できることを祈ります。改めまして、日頃より学校を支えていただいている皆様に心より感謝申し上げます。



卒業式は全校生で

3月は感謝の月です。“ありがとう”をおうちの人へ、上級生へ、お友達へ、先生方へ。そしていよいよ卒業の月です。感染の広がりはまだまだ予断を許さない状況が続きますが、「卒業式の日（3月17日）は予定通り全学年登校」とします。今後の感染拡大の状況を注視しつつ、収束状況が芳しくない場合には、下級生の何学年かが教室で配信を視聴する形にして、式場内の人数を減らすなど、安心して実施できるよう臨機応変に対応してまいります。

皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

ゆいのき

三二

速報版 45

R4.3.10

室田和宏



上左から「6年生授業参観」おうちの方へ感謝の気持ちを言葉で、手紙で、思い出スライドで伝えました。「4年生のスケート教室」慣れない氷上で悪戦苦闘しながらもみるみる上達。6年生へのメッセージが学校中を彩り、思い出がよみがえります。短縮日課でも、今できることに全力で！！

A I ドリルの採用について

本校では（宇都宮市では）本年度、G I G Aスクール構想の本格スタートということで、A I ドリルを試行していたところです。先日、宇都宮市からのチラシを配付させていただきましたが、学習の成果も見られることから、次年度につきましても正式に採用し学習に役立てて行くことにしました。それに伴いまして4教科で年間1000円程度（低学年は教科が少ないため500円程度）の費用負担が生じます。過度な負担増にならないよう、各校で内容を吟味したうえで、宇都宮市で同じものを一括導入することに加え、本校独自にこれまで採用していた補助教材の見直しを図っています。例えば、

○国語や算数の「形成プリント」の採用を取りやめ、A I ドリルで代替できるのでは。

○1年生の算数で使用する「時計」「算数ブロック」を学校で購入し備品として備える。

○5、6年生の社会科資料集の採用を取りやめ、インターネットの活用で代替できるのでは。

これらの精選をすると、負担はむしろ軽減できる見通しです。学習への有効性を第一に考慮しながら、必要以上に保護者の皆様にご負担をおかけすることのないよう、今後もさらに、慎重に吟味してまいります。（ちなみに、慣れ親しんだ？「漢字ドリル」「計算ドリル」は引き続き採用し、有効に活用していく予定です。）皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



37名の6年生が卒業していきました。令和3年度のコロナ禍、難しい局面をひとつひとつ乗り越え、城山中央小学校を最後まで引っ張ってくれました。最上級生として“まごころ日本一”へ向けて、大きな一歩を印してくれました。彼らの特筆すべき持ち味は「感謝の心」だったと思います。いつも笑顔で伝える本物の“ありがとう”という言葉は、周りの人たちをまきこんで、どんどん幸せにしてみよう不思議な力を持っていました。卒業式当日も、下級生たちや保護者の皆様、先生方の心をいつの間にかぐっとなで温かい空気に会場全体が包まれました。50分ほどの式の間、会場で参加した3～5年生だけでなく、リモートで見ていた1、2年生の中にも、画面に惹きつけられていた子が何人もいたようです。在校生には彼らの“まごころのバトン”をしっかりと受け継いでほしいと思います。

賛したいと思います。左は昨年のものですが、全校生の集会になるので校庭で実施する予定です。次年度も、まだまだ感染症対策は継続していかなければなりません、下を向いても仕方ありません。知恵を出し合い、笑顔を忘れず、心をひとつにして乗り切っていきましょう。1年間のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。